

HISTORY OF
SIYOUEI

昌
栄

創業昭和三十三年

SIYOUEI
SINCE 1976

MADE IN JAPAN



日々、栄えるように

1957年、株式会社 昌栄創業。

自動車部品など、金属のプレス加工で培った技術をもとに、先代の趣味であった「釣り」が高じて、1976年にSIYOUEIブランドとして釣り具の製造販売を開始しました。

創業から67年たった今も、日本製を貫くことにこだわり続ける思いと、職人魂は創業から脈々と受け継がれています。(2023年現在)



Made **in** Japan.

こだわりのものづくりを



手曲げ

ランディングフレームに使われている8mm径の超々ジュラルミンのオーダー材料は、そもそも直線で使うことしか想定されておらず、手で曲げようとしても、ほとんど曲がらないほど硬い。

金属加工業ならではの職人技と専用の治具を駆使し、ひとつひとつ手作業で曲げて均一に形成するフレームは、熟練の職人だけが作れる形なのです。



手編み

網は厳選した原着糸をひとつひとつ丁寧に手編み作業で仕上げています。

網の中心「ヘソ」を作るところからはじめ、編み込みを繰り返して、均一な網目と最小限の結び目で編み上げます。

正確で繊細な編み込みの途中で網の目の大きさをミリ単位で変える「3段編み」は職人が長年培った手編み技術だからこそ出来る仕上げです。



自社生産

信頼できる国内の加工業者や腕の立つ職人、そして、その職人を支える家族や協力してくれる下請け業者がいるからこそ、作りたい製品をきっちり仕上げることができる。

SIYOUEIが自社生産、Made in Japanにこだわる理由がここにあります。

より使いやすく喜ばれる釣り道具を作るため、日々感謝の気持ちを忘れずに技を磨き進化させています。

受け継がれる SIYOUUEI ブランドのスピリット

「何かを作るんやったらひと味違うものにしろ」



ユニバーサルピック

グレ釣りが好きだった先代が作った、岩場に脚1本で立つ竿受け。当時このような機構の竿受けがなかったため人伝に話題に。

金属加工の職人技を駆使し、竿の角度を上下に調整できること、左右に向きを変えて固定できることなど、釣り人の“あったらいいな”を具現化した。

SIYOUUEI初の釣り道具の製造販売がはじまった。



三角網・オーバル型

釣具の製造を開始した1976年。当時丸形の枠しかなかったタモ網に、有効面積が増え丸形よりも効率的に捕獲できるようホームベース型のフレームを製品化。現在に至る。

また、現在のルアーゲームではスタンダードな形となったオーバル型のランディングフレームを発案し、世に広めたのもSIYOUUEIだった。



フレックスアーム

2005年、世界初のタモとシャフトのジョイント部分の折りたたみ機構の開発。ポイントを移動しながら釣る釣りでは、タモの携帯にフレーム部分が飛びだして使い勝手が悪かった。

こだわったのは、片手で操作ができるアーム。ショアシーバスアングラーやクロダイの落とし込みファンに一気に浸透。まさにランディングツール革命が起こった。

SIYOUEI の新たな挑戦

きちんとしたモノ作りは、日本の文化



国内生産にこだわるなかで唯一、買い付けていたものが、釣果の仕上げを担う網（ネット）でした。

テグス原料の吟味から着色の製法、加工性と性能の両立等、数々の課題に挑戦し続け、この度自社生産の網が完成しました。

編み終えた網の後染めではなく、素材に顔料を配合した「原着糸」を使用することで色褪せにくく、耐久性の高いSIYOUEIの考える日本規格の網に仕上がりました。



6年の歳月をかけて完成した自社生産の手編みネット。

網目のコブすべてが外側にくるように編まれており、魚体へのダメージを軽減する仕様となっています。



株式会社 昌栄

〒581-0039 大阪府八尾市太田新町 8 丁目 215 番地
TEL:072-949-3013

お問い合わせ
E-MAIL:info@siyouei.co.jp
official site:<https://siyouei.co.jp>

